

イキイキ

あさひっ子



ふるさとの自然 (37)

空高くさえずるヒバリ

○のどかな春を歌う

「うらうらに 照れる春日にひばり上がり 心悲しもひとりし思へば」。おおもものやかもち大伴家持のよく知られた歌です。万葉の昔から、人々はヒバリのさえずりにのどかな春の訪れを感じていたのでしょう。市内では、広い田んぼや畑に住んでいます。空高く舞い上がって大きな声でさえずるのは雄で、自分の縄張りを宣言しています。巣は草むらや畑の草の根元に作ります。巣に戻るときは離れた所に降りて、草の間に身を隠しながら歩いて行きます。

○お日様にお金を請求

鳥類が大きな声でさえずることができるのは、気管支の一部に鳴管という器官があり、息をするたびに声が出せる仕組みになっているためです。

野鳥の鳴き声を人間の言葉に直すことを「聞きなし」と言いますが、ヒバリの聞きなしは「日一歩日一歩、利取る利取る、月二朱月二朱……」というものです。これはヒバリがお日様にお金を貸したのですが、返してくれないので、空高く飛びながら請求しているという民話から来ています。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)



いくえ
郁恵ちゃん
平成23年8月17日生
両親＝堀越勝男さん
昭子さん(足川)

「お歌が大好き、笑顔がカワイイ女の子。パパとママの宝物」

りゅうたろう
隆太郎ちゃん
平成23年4月24日生
両親＝林隆史さん
真紗美さん(鎌数)

「乗り物大好き！ 特に飛行機には目がないよ！」



あらん
愛蘭ちゃん(左)
平成24年5月5日生
ふうか
楓華ちゃん(右)
平成22年7月10日生
両親＝嶋田篤さん
和美さん(平松)

「面倒見のいい楓華お姉ちゃんあま愛蘭も楽しそう♡」



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

表紙にあるよう一中の卒業式に行き、生徒たちの姿に感動。しかし、その気分吹き飛ばす茶番が私を待ち受けていました。それは帰宅してのこと。わが家の畑に設置してあるネットが倒れていました。この日吹き荒れた強風が原因なのですが、子どもたちは「母ちゃんが暴れて倒したんだ」と言い張ります。すると真打ち登場です。「そうよ、あんたたちのだらしなさに怒り爆発」と母ちゃん仁王立ち……。繰り広げられる小芝居にスタンディングオベーションならぬ、ただ立ち尽くす私でした。(Y)

くらしのカレンダー

- 6日(土) 袋公園桜まつり
二中、海上中入学式
- 7日(日) 中央小入学式
- 9日(火) 市内小中学校入学式(中央小、二中、海上中を除く)
- 21日(日) 春のへら鮎釣り大会(袋東ため池)
- 29日(月) 昭和の日